



# データでみる福島再生

## 最近の動き

### ○福島県内の除染仮置場等の状況

- ・仮置場等総数1,361箇所のうち、453箇所です除去土壌等を保管中、908箇所です搬出が完了し、598箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

### ○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、9月末時点で、約527万 $m^3$  (輸送量ベース) の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、9月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器2,006個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

### ○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2020年9月末時点で、累積約892万 $m^3$  (全体の約63.7%) の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。

### ○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、9月末時点で契約者数1,781人、面積約1,185haについて契約しております。

### ○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、8月末時点で、約279万トンの搬入を完了しました(うち、約49万トンが焼却処理済、約169万トンが再生利用済)。
- ・被災家屋等については、8月末時点で、約16,900件の解体撤去申請を受付済みであり、約15,600件を解体撤去済みです。

### ○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・8月末時点で、約120万トン(除染廃棄物を含む)<sup>※</sup>を各仮設焼却施設で処理しました。

<sup>※</sup>仮設焼却施設での処理済量を訂正いたしました。(訂正日:令和4年1月12日)

### ○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・9月末時点で、143,437袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況 ※

- ・相談員支援センターにおいて、住民セミナーを**12回**実施しました。
  - ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を**12件**、移動展示を**8件**(8日)実施しました。
  - ・内部被ばく検査(WBC)を**7日間**実施しました。
  - ・ガンマカメラを活用し、仮置場の原状回復などの検証、**2台日**実施しました。
- ※いずれも、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施しました。

(今回から以下の情報をお知らせします)

○帰還困難区域における鳥獣の捕獲状況

- ・今年度の捕獲数は、9月末現在でイノシシ1,269頭、アライグマ293頭、ハクビシン81頭となっています。